20260527鹿島区地域協議会

【資料３】

「南相馬市新庁舎建設事業について」

令和11年の開庁を目指し、実施設計を進めています

1 “『交流･協働･共生の場』新たなコミュニケーションを促す新庁舎”を目指す４つのコンセプト

01 ワンフロアーで完結する市民利便性が高い庁舎
02 防災対策を強化した庁舎
03 市民と行政のコミュニティの場が広がる庁舎
04 自然と共生する省エネ庁舎



建 物 概 要

- 計画敷地：原町区三島町二丁目地内
- 構造規模：鉄骨鉄筋コンクリート造４階建て（免震構造）
- 延床面積：庁舎棟 9,048 ㎡ + 車庫棟 200 ㎡

まちのひろばからみる新庁舎のイメージ

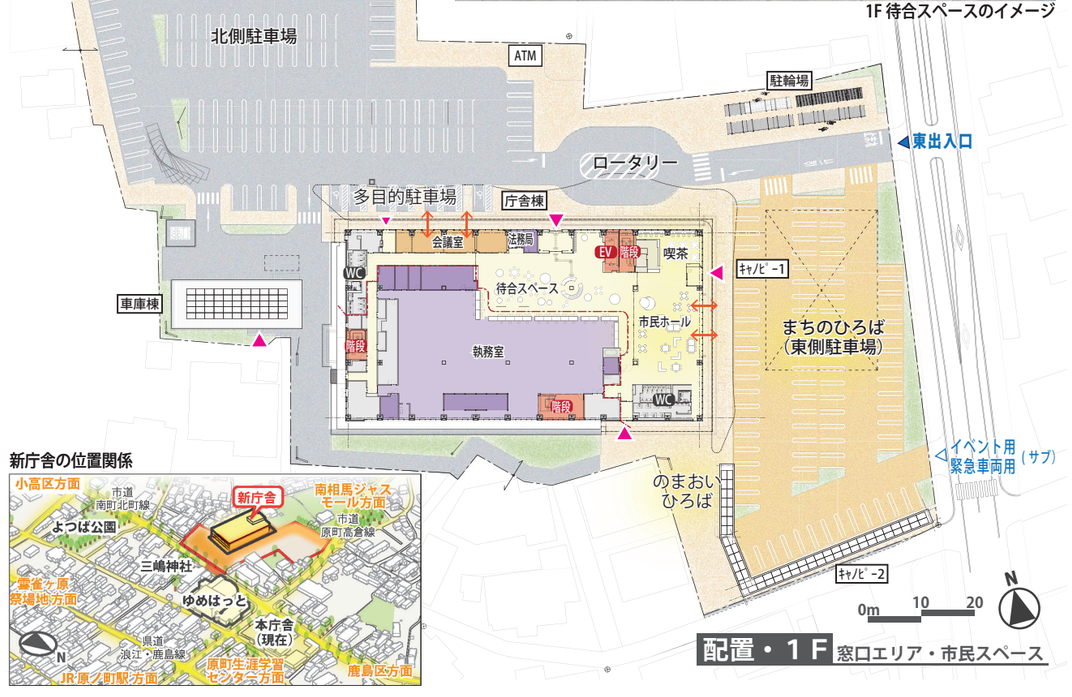
2 利便性とコミュニケーション効果を高める新庁舎配置計画

敷地利用計画

- 新庁舎は、東・北市道の両方向からアクセスが可能な利便性が高い配置計画です。
- 駐車しやすく、イベントや災害時には多彩な使い方が可能です



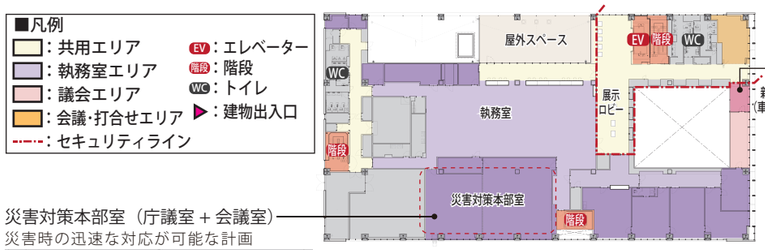
1F 待合スペースのイメージ



新庁舎の位置関係

3 市民利用を第一に考えた階構成・平面計画

■凡例
：共用エリア　EV：エレベーター
：執務室エリア　階段：階段
：議会エリア　WC：トイレ
：会議･打合せエリア　▶：建物出入口
：セキュリティライン

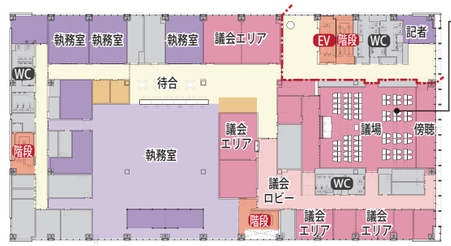


親子席・車いす席
段差無しで議場にアクセスが可能

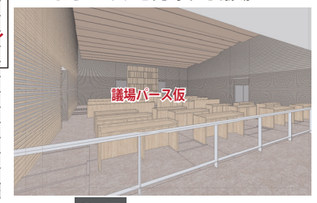
災害対策本部室（庁議室＋会議室）
災害時の迅速な対応が可能な計画



4 F 執務・首脳エリア



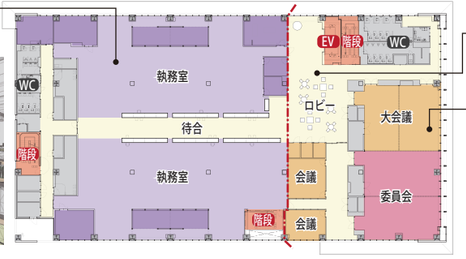
議場
まちづくりを先導する議場



3 F 議会・執務エリア

執務室
市民サービスを向上し、将来の働き方にも柔軟に対応できる執務室





2Fロビー
大人数の会議にも対応可能な溜まりスペースとしても機能

大会議・委員会室
個別利用だけでなく、大人数での一体的な利用が可能な計画

N

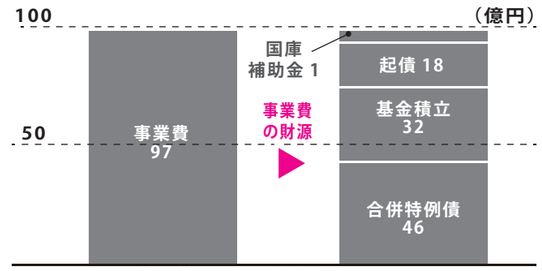
2 F 執務エリア

4 設計時点での事業費の状況について

新庁舎建設事業費は、エネルギー資源や建築資材、人件費の高騰に対応しつつ、品質と設備機能を維持しながら建物構造を簡素化して費用を抑え、基本設計段階で想定していた物価上昇を含めた最大 97 億円内に収めることで進めています。

財源は合併特例債 46 億円、庁舎建設基金 32 億円、交付税措置の対象となる新たな起債 18 億円、国庫補助金 1 億円の合計 97 億円を確保しています。

市場動向はなお予断を許しませんが、庁舎建設基金は現在も積み増しを行っており、物価変動に伴う財政負担にも対応できる準備を進めています。



総事業費	：97 億円
延床面積	：庁舎 9,048 ㎡ + 車庫 200 ㎡
工事費の㎡単価	：79 万円 / ㎡

5 今後のスケジュールについて（予定）

今回の設計内容を基に、令和 11 年度の新庁舎開庁に向け、工事発注や工事契約の議決など必要な手続きを行い、市民の皆さまにとって使いやすい庁舎を目指して、事業を進めてまいります。



※本資料は抜粋になります。市役所（公有財産管理課）、各区役所（市民総合サービス課）、中央図書館、各生涯学習センターに詳しい資料を準備しています。また、ホームページでも閲覧できます。

問合せ先 総務部公有財産管理課新庁舎建設推進係　0244-24-5405